

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-262557

(43)Date of publication of application : 26.09.2000

(51)Int.Cl.

A61F 13/49

A61F 13/58

A61F 5/44

(21)Application number : 11-073630

(71)Applicant : ITO IKUKO

(22)Date of filing : 18.03.1999

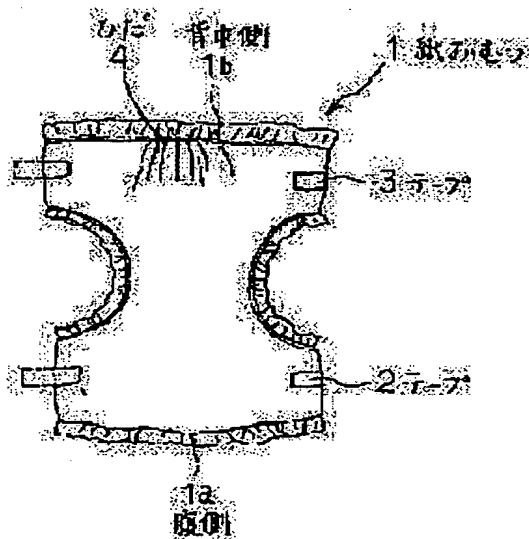
(72)Inventor : ITO IKUKO

## (54) PAPER DIAPER FOR GENERAL PURPOSE USE

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make it possible to easily wear the subject diaper under either condition where a baby, etc., lie on his back or his face.

**SOLUTION:** The paper diaper 1 for making a baby, etc., wear it is provided with tapes 2 and 3 for sticking on both belly side 1a and back side 1b of the paper diaper. It is possible to easily wear it under either condition where a baby, etc., lie on his back or his face and especially as it is possible to wear it under a condition where the baby lies on his face, the work can be smoothly performed as there exists no possibility of that the baby moves his arms and legs to do mischief and turns over.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against]

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-262557  
(P2000-262557A)

(43) 公開日 平成12年9月26日 (2000.9.26)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-コ-ト* (参考)
A 6 1 F 13/49		A 4 1 B 13/02	J 3 B 0 2 9
13/58		A 6 1 F 5/44	H 4 C 0 9 8
5/44			

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-73630

(22) 出願日 平成11年3月18日 (1999.3.18)

(71) 出願人 598162861

伊藤 郁子

岐阜県海津郡南濃町松山196-2

(72) 発明者 伊藤 郁子

岐阜県海津郡南濃町松山196-2

(74) 代理人 100083068

弁理士 竹中 一宜

Fターム(参考) 3B029 BD07

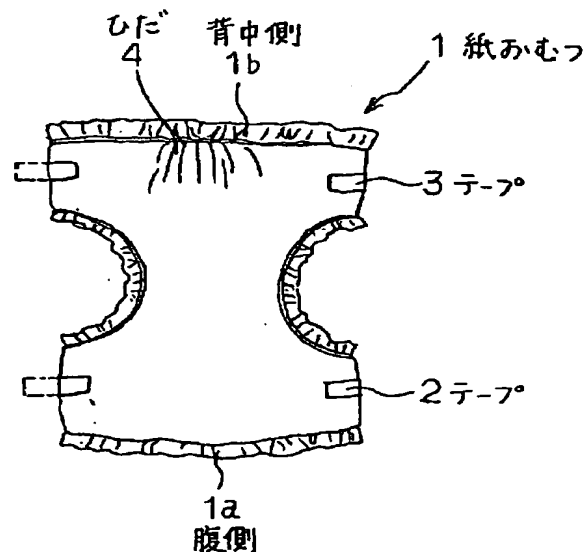
4C098 AA09 CC14 CE06

(54) 【発明の名称】 汎用性の紙おむつ

(57) 【要約】

【課題】 従来の紙おむつでは、あお向けの赤ちゃんが足を動かすと着用に手間がかかること、また原則としてうつ伏せの状態では着用に困難又は不可能である課題がある。またこのような課題を解決する先行技術文献では、何れもおむつカバーであり、紙おむつ本体に関する文献はなかった。

【構成】 赤ちゃんA等に着用させる紙おむつ1であって、紙おむつの腹側1aと背中側1bの両方に貼着用のテープ2、3を設けた構成である。赤ちゃん等があお向け・うつ伏せのどちらの状態でも容易に着用させることが可能であり、特に、うつ伏せにして着用できるので、赤ちゃんが手足を動かして悪さをしたり、寝返りを打ったりすることなくスムーズに作業ができる特徴がある。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 赤ちゃん等に着用させる紙おむつであって、紙おむつの腹側と背中側の両方に貼着用のテープを設け、赤ちゃん等がお向け・うつ伏せのどちらの状態でも着用可能としたことを特徴とする汎用性の紙おむつ。

【請求項2】 上記の粘着用のテープを、不使用時には紙おむつの外側に位置させる構成とした請求項1に記載の汎用性の紙おむつ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、腹背に貼着用のテープを有し、赤ちゃん等がお向け・うつ伏せのどちらの状態でも着用させることが可能な汎用性の紙おむつに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、赤ちゃん、老人、身体が不自由な人等(以下、代表して赤ちゃんで説明する。)に着用させる紙おむつの構成としては、主として図6に示すような構成である。この紙おむつは、背中側のみに貼着用のテープ(以下、テープとする。)を有しており、紙おむつの背中側を赤ちゃんの背中(尻)に当てた後、紙おむつの腹側を赤ちゃんの腹の上に被せ、背中側の両脇のテープを腹側の表面に貼着する。

【0003】しかし、赤ちゃんの足がよく動く時期となると、あお向けの状態で紙おむつを交換するのは大変である。例えば、手足を動かして悪さをしたり、寝返りを打ったりして、赤ちゃんの足に邪魔されることにより、テープを貼着する作業が非常に手間取る課題がある。

【0004】一方、赤ちゃんをうつ伏せにして着用させようとすると、テープの貼着部分(腹側)が下側になってしまい、確実かつスムーズな着用在が困難である。また、紙おむつは腹側と背中側とで形状が違うので、前後逆に使用する(紙おむつの腹側を赤ちゃんの背中側に当てて使用する)ことは不可能である。

【0005】尚、先行技術としては、例えば次のような考案がある。(1)実開昭63-123606号のハイハイ・クチャおむつカバーであり、従来のおむつカバーの前部で開閉するベルト部分を後部でも切り離し、かつ後部にも開閉機能を持たせ、前後両面での使用を可能とした構成である。(2)実開昭62-144907号のうつ伏せ交換用おしめカバーであり、おしめカバーの一方側の左右に設けられた翼片を、赤ちゃんの腹側から背中側に回して貼着して使用する構成である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、従来の紙おむつでは、あお向けの赤ちゃんが足を動かすと着用に手間がかかること、また原則としてうつ伏せの状態では着用在が困難又は不可能である課題がある。

【0007】また前記文献(1)、(2)では、赤ちゃんがうつ伏せの状態でも着用させることができ有益である。し

かし、何れもおむつカバーであり、紙おむつ本体にこのような構成を採用したものはなかった。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、赤ちゃん等がお向け・うつ伏せのどちらの状態でも容易に着用させることができ、特にうつ伏せにして着用できるので、赤ちゃんが手足を動かして悪さをしたり、寝返りを打ったりすることなくスムーズに作業ができる紙おむつを提供する。

10 【0009】請求項1は、赤ちゃん等に着用させる紙おむつであって、紙おむつの腹側と背中側の両方に貼着用のテープを設け、赤ちゃん等がお向け・うつ伏せのどちらの状態でも着用可能としたことを特徴とする汎用性の紙おむつである。

【0010】請求項2の発明は、腹側又は背中側のどちらか一方側のテープの使用中に、他方側の使用していないテープが赤ちゃん等の肌に触れて不快感を与えることがないようにする。

20 【0011】請求項2は、粘着用のテープを、不使用時には紙おむつの外側に位置させる構成とした汎用性の紙おむつである。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態の一例を説明する。

【0013】赤ちゃん、老人、身体が不自由な人等(以下、赤ちゃんで説明する。)があお向けの状態である場合、図2の如く、紙おむつの背中側を赤ちゃんの背中(尻)に当てた後、紙おむつの腹側を赤ちゃんの腹の上に被せ、背中側の両脇のテープを腹側の表面に貼着する。これにより、図3の如く紙おむつが赤ちゃんに着用される。

30 【0014】一方、赤ちゃんがうつ伏せの状態である場合は、図4の如く、紙おむつの腹側を赤ちゃんの腹に当てた後、紙おむつの背中側を赤ちゃんの背中(尻)の上に被せ、腹側の両脇のテープを背中側の表面に貼着する。これにより、図5の如く紙おむつが赤ちゃんに着用される。この場合、前記あお向けの場合と全く同様の手順で着用させることができ手間がかからないこと、また、うつ伏せにして着用できるので、赤ちゃんが手足を動かして悪さをしたり、寝返りを打ったりすることなくスムーズに作業ができる特徴がある。

40 【0015】また、腹側又は背中側のどちらか一方側のテープの使用中に、他方側の使用していないテープが赤ちゃん等の肌に触れて不快感を与えることがないように、テープを紙おむつの外側に位置させる構成とする。例えば、テープを紙おむつの外側で折り曲げて固定できる構成、又はテープが取り外し可能である構成、等が考えられる。

【0016】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0017】1は紙おむつであり、この紙おむつ1本体は腹側1a及び背中側1bとで構成される。

【0018】前記腹側1aの両脇にはテープ2、2が、背中側1bの両脇にはテープ3、3が、それぞれ設けられている。このテープ2、3は、通常のテープの他、例えば、何度も付け外しが可能となるよう、マジックテープ等で構成することもできる。また、テープ2、3は、不使用時に赤ちゃんAの肌に直接触れないよう、紙おむつ1の外側に設けられる。例えば、テープ2、3を紙おむつ1の外側で折り曲げて固定できる構成、又はテープ2、3が紙おむつ1から取り外し可能である構成、等が考えられる。

【0019】そして、あお向けでの着用時には、背中側のテープ3、3を紙おむつ1の腹側1aの表面にそれぞれ貼着する。一方、うつ伏せでの着用時には、腹側のテープ2、2を背中側1bの表面にそれぞれ貼着して使用される。

【0020】図中4は、背中側1bに設けられたひだを示す。

【0021】

【発明の効果】請求項1の発明は、赤ちゃん等に着用させる紙おむつであって、紙おむつの腹側と背中側の両方に貼着用のテープを設け、赤ちゃん等があお向け・うつ伏せのどちらの状態でも着用可能としたことを特徴とする構成である。従って、赤ちゃん等があお向け・うつ伏せのどちらの状態でも容易に着用させることが可能であり、特に、うつ伏せの状態での着用時には、赤ちゃんが\*

\*手足を動かして悪さをしたり、寝返りを打ったりすることなくスムーズに作業ができる特徴がある。

【0022】請求項2の発明は、粘着用のテープを、不使用時には紙おむつの外側に位置させる構成である。従って、腹側又は背中側のどちらか一方側のテープの使用中に、他方側の使用していないテープが赤ちゃん等の肌に触れて不快感を与えることがなく、赤ちゃんに快適に着用させることができる。

【図面の簡単な説明】

10 【図1】本発明の紙おむつの全体を示す平面図である。

【図2】本発明の紙おむつをあお向けの赤ちゃんに着用させる前の図である。

【図3】図2の着用後の図である。

【図4】本発明の紙おむつをうつ伏せの赤ちゃんに着用させる前の図である。

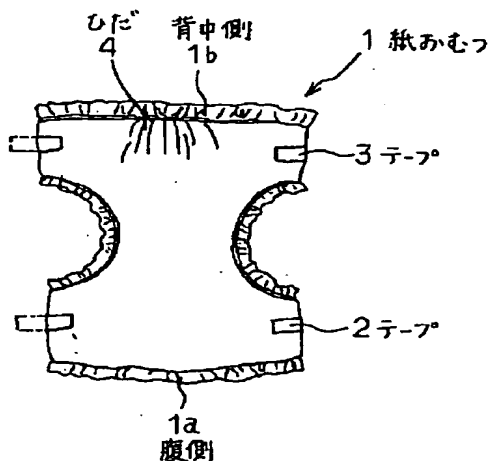
【図5】図4の着用後の図である。

【図6】従来の紙おむつの全体を示す平面図である。

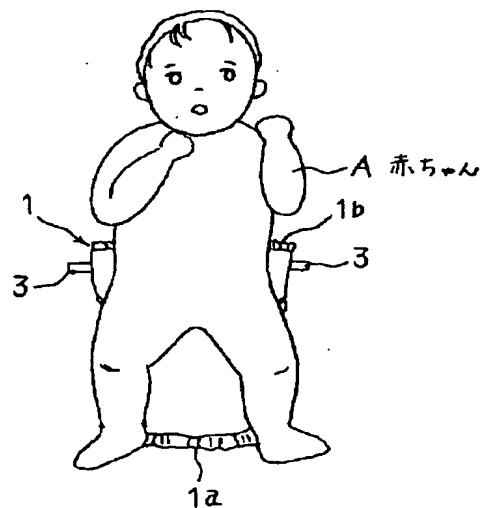
【符号の説明】

- |    |      |
|----|------|
| 1  | 紙おむつ |
| 1a | 腹側   |
| 1b | 背中側  |
| 2  | テープ  |
| 3  | テープ  |
| 4  | ひだ   |
| A  | 赤ちゃん |

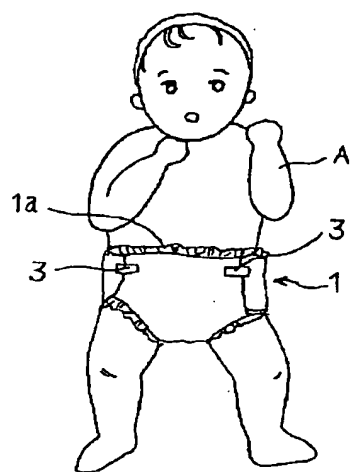
【図1】



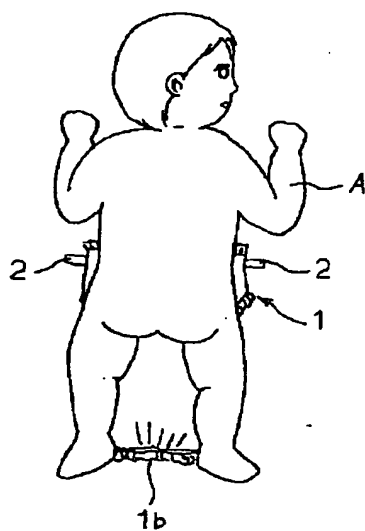
【図2】



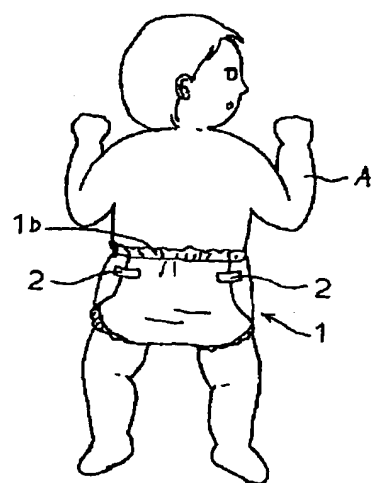
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

